

防災チャレンジキャンプって何をするの？

2つのポイント 子どもたち“が”子どもたち“と”考えるために

①もしも、避難生活（ひなんせいかつ）をすることになったら…

地震や洪水などで、もしかたら避難をすることがあるかも…
そんな時、どんな暮らしになるのか、なにができるのか、などを
実際に体験してみます
※宿泊体験は施設管理の都合上、テント泊での対応となります。

②どんなことにもまずはチャレンジ！

キャンプでは、子どもたちのやりたいことはもちろん
いろいろなチャレンジの場面をつくります。
「やったことがない」「大変そう」「難しい」かもしれませんが
まずはチャレンジすることで体験の場をつくっていきます。

活動スケジュール（予定） ※時間は目安です

1日目	2日目
10:30 集合 はじまりの会 交流ゲームなど 昼食	6:00 起床、洗面 朝食（非常食を食べてみよう） そうじ、片付け
13:00 森の子会議（ルールづくり） ねどこ準備（テント泊） 自由プログラム①	9:30 自由プログラム③ 12:00 昼食
16:00 野外炊飯 自由プログラム② ふりかえり 作戦会議	13:00 ふりかえり 15:00 終わりの会 解散
21:00 就寝	

かならずチャレンジすること

森の子会議

キャンプでの約束ごとの確認をするほか、
やりたいことを集めたり、
何をするかを子どもたちと考え
決めるための話し合いの時間をつくります

テント生活

寝床となるテントを組み立てるところから
チャレンジします。
実際に寝てみることで発見や感想
など、キャンプならではの体験となります

野外炊飯 非常食を食べてみよ

火をおこし、自分たちで調理をするところ
から、食事作りにチャレンジします。
おいしくなるかはみんな次第！
また、非常食を実際に食べてみます！

ふりかえり

キャンプを通じて頑張ったことや楽しかった
ことを分かち合うことはもちろん
防災について質問やクイズを出しながら
キャンプの思い出や学びを再確認し
深めることを目指した場をつくります。

他にはこんなことができるかも？

今回のキャンプでは、みんなのやりたいことを叶える【自由プログラム】
の時間をつくります！

あそびはもちろん、チャレンジにつながる色々なプログラムを用意しました！
※当日開催する「森の子会議」を始めとして、
場面ごとに子どもたちと話し合い何をするかを決めていきます。
※必ずしも下記のすべてを行うわけではありません。
→主催者では環境づくりなどの準備までをします。最後は子どもたちの想いを尊重します
※当日の子どもたちの希望によっては、下記以外のプログラムを行う場合もあります。
※最終的な決定は、安全面などを考慮し主催者が判断・決定します

色々な材料で食器をつくろう！

竹、牛乳パック
新聞紙など
色々な材料で
おわんやスプーン
はしなどの食器づくり
をしてみよう！



ドラム缶風呂でぽかぽかタイム

火をおこして
お湯をわかして
暖かいお風呂をつくろう！
※全身まで入るサイズと
足湯サイズがあります
※希望者は水着、濡れても
よい服を準備ください



森の材料であそび道具づくり

森のなかから材料を
さがしてものづくり！
あそび道具やキャンプ
のお土産をつくろう！



ワクワクドキドキ火おこしチャレンジ

昔ながらの道具を
つかってチャレンジ！
めざせ、
火おこしマスター！



体育館でひみつ基地づくり

体育館をまるごと使って
ひみつ基地づくり！
家、迷路など
何が出来るかは
みんなのアイデアで！



わき水広場にハイキング！

「こしょうすの湧水」
目指してハイキング
おいしい水をゲットしよう！
※上記広場は
「ふくいのおいしい水」
として
福井県の認定を受けています



たき火をかこんで わいわいがやがや

夜はキャンプファイ
ヤー、昼はのんびり
おやつづくりなど
おしゃべりしながら
楽しいひとときを♪



森でのんびり ツリーハウスであそぼう！

ふくいふるさと学びの森
（H28年2月認定）
でもあるツリーハウスの
ある森でリラックス。
もちろん、あそびで楽しむ
こともできるよ！

